

## 【I コリント人への手紙 10章】

「あなたがたの会った試練はみな人の知らないようなものではありません。神は真実な方ですから、あなたがたを耐えることのできないような試練に合わせるようなことはなさいません。むしろ、耐えることのできるように、試練とともに、脱出の道も備えてくださいます。」

( I コリント10:13)

先週は信仰の鍵について語られました。(祈り、賛美し、感謝し、聞き従う) 今日箇所は、パウロがイスラエルの歴史の中から、同じ救いにあずかり、同じ御霊の食べ物を食べ、同じ御霊の飲み物を飲んで、大部分は神の御心にならず、荒野で滅ぼされた例を取り上げて教訓と戒めを与えています。

7節モーセが十戒を受けている間に金の子牛の偶像を作って拝んだ者たち(出32:4) 8節イスラエルがシティムにとどまっていた時、民はモアブの娘たちと、淫らなことをした姦淫の罪(民25:1) 9節モーセに従ってきた民が、途中で我慢できず、モーセに逆らって主を試みて蛇にかみつかれた。(民21:5、6) 10節 コラの不尊の罪を神が打たれたことに対してモーセとアロンにつぶやいた。(民16:41)

これらの出来事と、コリント教会にある問題には密接な関係があり、またそれらは、世の終わりに生かされている私たちへの戒めでもあります。私たちは日々の生活の中で、様々なピンチに見舞われます。その時私たちはどうすればよいのでしょうか？まずその試練がゆるされたことを感謝し、そのことの裏にある神様の愛のご計画を信じて祈りましょう。信仰の鍵を使うのです！それらからくる試練は、私たちの人生を破滅に追いやるものではなく、実は全能の神様ののみ手が動かされ、助けが与えられ、神様の栄光を表す絶好のチャンスなのです。神様は真実な方ですから、耐えられない試練ではなく、耐えることのできるように、試練と共に、脱出の道をも備えて下さる愛のお方です！

律法はそれらの罪を罪として指摘しますが、哀れみ豊かな神様は、私たちを滅びに追いやることをせず、十字架を通して人知をはるかに越えたキリストの愛のご計画を開いて下さいます。

3月11日(日)の午後2時46分は3.11の東日本大震災を覚えて、全国で1分間の黙祷が導かれています。私達も、神のみ前に真の悔い改めが与えられますように、被災者の方々への助けと救いが与えられますように、この日本が、私たちの家族親族、友人知人が救われるように祈りましょう！試練の時こそ、神のしるしと不思議、癒し、奇跡のみわざがいよいよあらわされますように！

\* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意下さい。  
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:ダニエル大衛

# SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2012.2.26 No.672

今年のみ言葉 歴代誌Ⅱ 20:22

**我らが喜びの声、賛美の声をあげ始めたとき、  
主は伏兵を設けて～彼らは打ち負かされた。**

なぜなら、神によって生まれた者はみな、世に勝つからです。  
私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝った勝利です。

Iヨハネ5:4



1

主の十字架クリスチャンセンター (TLCCC)  
The Lord's Cross Christian Center  
<http://astone-blog.jp/tlcccfrh/>